

A. 主な動き

1. 内政

▼期限前議会選挙に向けた動き

- ・1日、中央選挙管理委員会は、積極的な選挙運動及び投票への参加を有権者に促すキャンペーンを開始。同キャンペーンには国連開発計画、欧州委員会、欧州評議会、国際選挙制度基金、国際移住機関等が資金協力。
- ・2日、憲法裁判所は、内閣によって10月28日に提起されていた、選挙運動に参加する大臣の地位にかかる憲法解釈の審議を9日に行うと発表。
- ・2日、中央選挙管理委員会は、これまでの選挙運動における自由民主党の支出は284万レイで最多と発表。
- ・2日、グレチャニ前首相（共産党所属）は、共産党は選挙後に2009年まで取り組んでいた予算及び税政策を再開し、経済成長及び地域発展をもたらす投資環境の改善に取り組む意向と発言。
- ・3日、自由党及び民主党は、共産党が選挙運動のために作成したVTRはギンブ大統領代行とルプ民主党党首を誹謗するものとし、放映の禁止命令を中央選挙管理委員会に要求。これに対し、5日、共産党は、同VTRは選挙法には何ら抵触しないと反論。現政権は中央選挙管理委員会とともに選挙運動を妨害し言論の自由を制限しようとしていると非難。
- ・3日、ギンブ大統領代行は、エイカーOSCE/ODIHR選挙監視団代表と会談。新政府は国民の信頼を得て国内改革及び近代化に取り組む必要があり、AELは自由かつ公正な選挙の実施に全力を尽くす旨発言。エイカー代表は、今回の選挙はモルドバの政治危機克服及び民主的法治国家建設プロセス継続のために極めて重要である旨発言。
- ・4日、ルプ民主党党首は、選挙後には多様な政党による共同統治を実現するべきであり、かかる体制への共産党参加を拒否しない旨発言。
- ・5日、フィラト首相は、同首相とヴォローニン前大統領とのTV討論の実施を共産党に提案。これに対し、共産党は、自由民主党と討論すべきことはないとの見解を表明。

▼洪水被害援助にかかる動き

- ・1日、カタン内務相（自由民主党所属）は、洪水の被害は政府によって人為的にもたらされたとの共産党の見解は、被害援助における政府の貢献を否定するための罠であると批判。
- ・2日、フィラト首相は、公的資金により再建された家屋20戸の被害者への引き渡しを実施。12月5日までに計706戸の家屋が完成の予定と発表。
- ・4日、タナセ法相（自由民主党所属）は、洪水の被害を人為的にもたらすことは不可能であるとし、共産党作成のVTRは

虚偽の証言に基づいたものであると非難。

▼世論調査

[CBS・AXA]

- ・次の日曜に議会選挙が実施された場合の政党支持率
共産党:39%、自由民主党:21%、民主党:19%、自由党:13%、欧州アクション運動:3%、「我々のモルドバ」:2%
- ・政治家支持率
ヴォローニン前大統領:21%、フィラト首相:14%、ルプ民主党党首:10%、ギンブ大統領代行:6%、キルトアケ・キシナウ市長:2%
- ・調査は、10月22日から30日にかけて1,528名の成人を対象に実施。標準誤差は2.5%以内。

2. 経済

▼マクロ経済

- ・3日、1－9月の平均給与は昨年同期比7.7%増の2,909レイ（約246.5ドル）、実質給与は0.5%増。

▼財政

- ・1日、税監視当局は、固定資産税からの歳入は2億4,230万レイ、2009年度比5,090万レイ増と発表。

▼農業

- ・3日、ブマコフ農業食品産業次官は、今年の食用小麦の収穫高は34万5,000トンであり、6万トンの在庫もあるため、国内需要を満たす量は確保されていると発言。

▼対モルドバ支援

- ・4日、中国政府は、洪水支援の第一トランシェとして50万ドルの支援を実施。

3. 沿ドニエストル

- ・2日、モルドバ外務・欧州統合省は、露軍の沿ドニエストル領内からの撤退に関し、露軍による平和維持活動を文民ミッションへと変更するよう要求する声明を発表。
- ・2日、沿ドニエストル選挙管理委員会は、12月実施予定の同「議会」選挙の候補者受付を終了、計175名の候補者が申込と発表。
- ・2日、ホルジャン沿ドニエストル共産党代表は、キエフを訪問しシモネンコ・ウクライナ共産党党首等と会談。ウクライナ・沿ドニエストル間の関係強化につき協議。
- ・5日、ヤストレブチャク沿ドニエストル「外相」は、露軍撤退を要求するモルドバ側の声明に沿ドニエストル側が反応する必要はなく、露軍撤退の暁には武力紛争が再燃する危険性があると発言。また、同「外相」は、オシポフ・モルドバ沿ドニエストル問題担当副首相提案の「5+2」者協議におけるEUと米国のステータス格上げの必要はないと発言。

B. その他の動き

11/1 (月)

1, 040人が国境警備隊等に配属予定。

・秋期徴兵が開始。2, 340人が徴募され、1, 300人が軍に、

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と標記しています。
(了)